

保 險 研 究 所 編

保 險 辭 典

保 險 研 究 所

1 9 7 8

保 險 辞 典〔改訂新版〕

1962年9月15日 初版発行
1971年4月25日 増補改訂版発行
1972年6月5日 第二刷
1974年4月29日 第三刷
1978年3月25日 改訂新版発行

編集代表者 横尾登米雄
発行者 島田信三

発 行 所 株式会社 保 險 研 究 所

東京都渋谷区本町1-17-3
電話 (03) 376-3331~2
振替口座 東京 9-70360

(乱丁・落丁がありました際にはお取り替えます)

〔Ⅰ〕事 項 索 引

和 文 索 引

欧 文 索 引

〔Ⅱ〕事 項 目

は し が き

この「保険辞典」を世に問うたのは1961年（上巻）から1962年（下巻）にかけてであった。自然科学・社会科学のあらゆる分野にわたっている保険用語の総合辞典の編さんは、ドイツのマーネス博士編による *Versicherungswörterbuch*（1909, 3 Aufl., 1930）をはじめ過去いくつかのものが試みられているが、その収録範囲の広さや、用語解釈の統一、新造語の続出等々の問題が余りにも多く、継続的に刊行されている保険辞典は世界的にみても、その数は少ない。わが国では、前述の如く当社の「保険辞典」（1962初版）と相前後して有斐閣から刊行された保険辞典の二つを数えるだけであるが、今日まで改版を重ねてきているのは当社の「保険辞典」のみとなっている。

本辞典は、初版刊行以来すでに16年余の歳月が流れているが、この間、1971年には増補改訂を行なうと共に、上・下2巻にわかれていた旧版を1巻にまとめるなどその歩を進めてきている。従って、今回は初版から数えると第3版に当たり、また1971年の増補改訂に次ぐ大幅な改訂版となっている。いずれにしても、経済社会の急速な進展・変化のなかで保険事業もかつてない伸展と変貌を遂げており、これに伴って保険用語も膨大な数に上っている。今回の改訂に当たっても約300語からの用語が新設されており、これらの新設・改廃作業の結果、従来より200ページほどの増ページを余儀なくされた。

また、今回の改訂企画は当社創立50周年記念出版事業の一環として目録んだものであり、2年余の時間を費してここに完成をみたものである。この間、初版当時から一貫してその中心的役割をつとめていただいている横尾登米雄教授をはじめ、120余名に上る保険学者・実務家の方々のご協力をいただいたことに深甚の謝意を表する次第である。

いまこうして改訂版の版を重ねるに当たって思うことは、16年前の初版刊行

当時の数々の思い出である。文字通り、そこに『無から有』を生み出していく苦労があったし、その陰に監修者（朝川伸夫博士、印南博吉博士）、編集代表委員、それに300余名に及んだ執筆者の方々の大きな支援と協力と不退転の情熱が秘められていることは言を俟たない。それらの協力者の方々のうちには、すでに故人となられた方、第一線を退いておられる方々の数も多くなったが、こうして版を重ねるなかで先人の努力が今日なお生きつづけていることを思わずにはいられない。

いざ完成してみると今回の改訂版も、まだまだ十分に意をつくさない点が多く満足がいくものとはいえない。しかし、それはこの種の辞典が持つ半ば宿命ともいえる。こんご更に版を重ねていくなかで、歩一歩その完璧の度を積んでいくべきものと思う。

1978年3月25日

株式会社 保 険 研 究 所

代表取締役社主 島 田 信 三

代表取締役社長 森 松 邦 人

改訂新版執筆者

編集代表／横尾登米雄

青木 利元（明治生命）
青山 茂樹（損害保険料率算定会）
秋山 恵一（損害保険事業研究所）
芥 潤一（日産火災）
東 善治（千代田火災）
天本 吉樹（日本損害保険協会）
有川 清康（住友生命）
飯塚 達男（郵政省簡易保険局）
飯村 篤（共栄火災）
磯井 正義（郵政省簡易保険局）
稲垣 俊策（損害保険料率算定会）
猪俣 吉彦（東京海上）
今泉 英紀（生命保険協会）
今井 正志（日本損害保険協会）
今関 士郎（千代田生命）
内田 豊（損害保険事業研究所）
梅沢 文夫（日本損害保険協会）
瓜生原二郎（安田生命）
江口 徹治（日本損害保険協会）
遠坂 進（第一生命）
大崎 洋一（損害保険料率算定会）
大山 鉦（保険研究所）
岡村 開（日本地震）
岡本 公夫（安田火災）
岡本 司郎（生命保険協会）
尾崎 勝敏（西武オールステート）
越知 隆（大東京火災）
小野 孝義（郵政省簡易保険局）
加藤 昭（住友海上）
加藤 修（東京海上）
加藤 昇（日本損害保険協会）
下保 進（第一生命）
唐津 龍三（三井生命）

川崎 泰助（郵政省簡易保険局）
川浪 良公（日本船舶保険連盟）
菊池 克彦（日本生命）
木島 和美（大蔵省銀行局）
北沢 一保（大東京火災）
木谷 幸雄（安田生命）
北原 貞幸（船主責任相互保険組合）
木村 栄一（一橋大学）
窪田 和男（日本損害保険協会）
熊谷 豊（郵政省簡易保険局）
栗原 正明（損害保険料率算定会）
黒田 桂二（生保リサーチセンター）
桑野 光雄（興亜火災）
河野 秀雄（損害保険料率算定会）
児玉 正（第一生命）
小林 篤（安田火災）
小林啓次郎（第百生命）
西郷 武（損害保険料率算定会）
斉藤 健（生命保険協会）
坂井幸二郎（共済保険研究会）
堺 雄一（明治生命）
佐々木英二（明治生命）
四関 一（興亜火災）
篠原 友来（日本損害保険協会）
島田 和明（保険研究所）
島田 裕（安田火災）
白石 孟司（日動火災）
末包 坦（第一生命）
鈴木 修（郵政省簡易保険局）
鈴木 克彦（損害保険料率算定会）
住友 弘和（郵政省簡易保険局）
高橋 成行（日本損害保険協会）

竹中 規雄(第 百 生 命)
竹村 清(日 本 機 械 保 險 連 盟)
竹村 皓男(日 本 団 体 生 命)
田中 啓二(安 田 火 災)
田中 淳三(三 井 生 命)
田辺 俊英(自動車保険料率算定会)
千野 清巳(安 田 火 災)
陳 繼堯(台 灣 産 物 保 險)
土屋 寛(船主責任相互保険組合)
土谷 正裕(日 本 損 害 保 險 協 会)
出張 千秋(損害保険料率算定会)
寺岡 烈(安 田 生 命)
寺西 敬三(安 田 生 命)
戸川 康司(同 和 火 災)
所 倉蔵(日 本 保 險 新 聞)
中島 伸一(明 治 生 命)
永田 昭夫(日 動 火 災)
二沢 一進(明 治 生 命)
西川 幹人(学 習 院 大 学)
西村 洋二(ア リ コ ・ ジ ャ パ ン)
野崎 政夫(第 一 火 災)
能仁 正樹(興 亜 火 災)
服部公一郎(三 井 生 命)
羽田 幸喜(A I U)
林 寛威(千 代 田 生 命)
樋口 正久(自動車保険研修センター)
秀島 倫夫(安 田 生 命)
平井 乙也(保 險 研 究 所)

福地 誠(明 治 生 命)
福室 泰三(第 一 生 命)
藤井 昌二(A I U)
藤崎 由安(第 一 生 命)
堀村 勝美(日 本 損 害 保 險 協 会)
馬來 義武(日 本 損 害 保 險 協 会)
真崎 勝(原子力保険プール)
松井 博茂(日 本 損 害 保 險 協 会)
松田 和也(東 京 海 上)
丸山 茂樹(東 方 海 上)
三上 英満(ロ イ ヤ ル)
宮内 真一(東 洋 火 災)
宮川 昌夫(安 田 火 災)
宮澤 哲(損害保険料率算定会)
宮澤富士夫(安 田 火 災)
宮 雄大(興 亜 火 災)
守永 宗(日 本 損 害 保 險 協 会)
森松 邦人(保 險 研 究 所)
安田 和男(郵 政 省 簡 易 保 險 局)
安田 雅豊(朝 日 火 災)
矢野 好一(日 動 火 災)
山口 純夫(郵 政 省 簡 易 保 險 局)
山下 陽生(日 本 損 害 保 險 協 会)
山田 清治(東 亜 火 災)
大和 義明(住 友 海 上)
山中 光一(千 代 田 生 命)
横尾登米雄(徳 島 文 理 大 短 大)
若林 正浩(生命保険文化センター)

初 版 執 筆 者

監修／朝川伸夫・印南博吉

〔◎印は編集代表，○印は編集委員〕

◎青木 延一 (安 田 生 命)	大沢 辰英 (住 友 海 上)
◎青谷 和夫 (郵 政 省・国 学 院 大 学)	太田 薫 (住 友 海 上)
青山 茂樹 (損 害 保 險 料 率 算 定 会)	大塚鉄之助 (東 亜 火 災)
赤坂 幸男 (住 友 海 上)	岡部 寛之 (住 友 生 命)
○赤羽 浩 (東 亜 火 災)	岡本 辰次 (千 代 田 生 命)
秋葉 功 (千 代 田 生 命)	小木 弘清 (損 害 保 險 協 会)
芥 潤一 (日 産 火 災)	越知 隆 (大 東 京 火 災)
朝川 伸夫 (中 央 大 学)	小野関丈夫 (日 産 火 災)
○浅谷 輝雄 (大 蔵 省 銀 行 局)	鏡 勝丸 (安 田 火 災)
雨宮 正臣 (安 田 火 災)	風岡 真 (損 害 保 險 協 会)
飯塚 新 (安 田 火 災)	笠原 長寿 (明 治 大 学)
飯野 公三 (協 栄 生 命)	笠本 徳藏 (日 本 生 命)
家倉 恵造 (日 本 生 命)	加藤 昭 (住 友 海 上)
伊賀山栄雄 (東 京 海 上)	加藤 博寿 (第 一 生 命)
生田 勇 (東 邦 生 命)	加藤 博之 (安 田 火 災)
石田 祐六 (日 本 大 学)	金子 真一 (損 害 保 險 協 会)
○石塚 堯三 (明 治 生 命)	金子 卓治 (大 阪 市 立 大 学)
板坂 登 (大 東 京 火 災)	樺島 宏 (日 産 火 災)
市川 久仁 (住 友 海 上)	鎗木 英明 (日 本 火 災)
市川 秀雄 (損 害 保 險 協 会)	上山 道生 (安 田 火 災)
市原 浩介 (住 友 海 上)	亀井 利明 (関 西 大 学)
○一色 嗣武 (前 ・ 朝 日 生 命)	川合 武憲 (損 害 保 險 協 会)
伊藤 正三 (共 栄 火 災)	河島 孝次 (安 田 火 災)
井上 洋溢 (三 井 生 命)	河野 実 (安 田 火 災)
井原 正雄 (日 本 火 災)	川元 英二 (関 西 大 学)
印南 博吉 (明 治 大 学)	神田 嘉樹 (第 一 生 命)
臼井 公士 (損 害 保 險 協 会)	北島 一郎 (保 險 研 究 所)
○梅沢 文夫 (住 友 海 上)	○木村 栄一 (一 橋 大 学)
瓜生原二郎 (安 田 生 命)	木村 英世 (日 産 火 災)
衛藤 洋吉 (第 一 生 命)	木村 正文 (日 動 火 災)
遠藤 裕 (住 友 海 上)	木村 靖夫 (住 友 海 上)

木村 祐造(千代田生命)
 桐月 裕司(大正海上)
 久保 三成(第一生命)
 黒沢 隆平(安田火災)
 黒田 泰行(明治大学)
 合田 岩治(安田火災)
 古後 新(日動火災)
 虎城 正也(日本生命)
 後藤 東彦(保険研究所)
 ○駒崎 信次(千代田生命)
 小林 乙彦(安田火災)
 昆野 義平(明治生命)
 斉藤 晃司(住友海上)
 斉藤 紫郎(損害保険経営者懇談会)
 斉藤 瑛璋(千代田火災)
 ○坂井幸二郎(共済保険研究会)
 ○坂田耕四郎(三井生命)
 坂本 三郎(日本火災)
 ○桜井 則夫(東亜火災)
 佐久間哲雄(日本生命)
 佐藤 義和(日動火災)
 佐藤 弘之(第一生命)
 三田 次郎(元・東京海上)
 設楽 勝(日本生命)
 篠田 床三(日本生命)
 篠原 友来(大蔵省銀行局)
 島田 和明(保険研究所)
 杉山 義典(大正海上)
 勝呂 弘(神戸大学)
 鈴木 和雄(前・大成火災)
 鈴木 駒雄(A I U ジャパン)
 ○鈴木 譲一(東京海上)
 ○鈴木 敏行(大正海上)
 須田 眺(安田火災)
 関戸 好藏(安田火災)
 瀬下辰次郎(損害保険料率算定会)
 瀬戸 恒義(日本原子力保険プール)

瀬名 貞利(沖繩生命)
 ◎園 乾治(慶応義塾大学)
 ○高芝 達(日本生命)
 高橋 昭男(日動火災)
 高橋 純男(日本生命)
 高橋 義胤(保険研究所)
 高松 潤三(三井生命)
 武田 孝雄(東京海上)
 竹中喜満太(公正取引委員会)
 竹中 規雄(第一百生命)
 竹村 清(日本機械保険連盟)
 田中 靖一(安田火災)
 谷山 新良(大阪府立大学)
 田中 淳三(三井生命)
 千葉 一晴(日動火災)
 塚口 純行(日本生命)
 ○塚谷 精一(キャピタル保険会社)
 ○所 倉蔵(A I U ジャパン)
 梶木 栄一(大正海上)
 友田 勇(前・日本機械保険連盟)
 内藤 脩治(三井生命)
 中内 正明(安田火災)
 中島 平八(農業共済協会)
 ○長瀬 恒蔵(船員保険会)
 永田 昭夫(日動火災)
 中村 栄(日本生命)
 永山徳太郎(日本火災)
 夏目 嘉一(日産火災)
 ○西川 幹人(朝日生命)
 西巻 忠雄(千代田生命)
 庭田 範秋(慶応義塾大学)
 芳賀太兵衛(前・安田火災)
 橋本 慶典(安田火災)
 長谷川武雄(損害保険代理業協会)
 花沢 実(第一生命)
 馬場俊一郎(日本生命)
 林 日出雄(損害保険協会)

菱沼 從尹 (第 百 生 命)	村岡 寿昭 (住 友 海 上)
日原 恵 (日 本 生 命)	◎森 啓二 (早 稲 田 大 学)
○平井 乙也 (保 險 研 究 所)	森下 勝弘 (日 動 火 災)
平田 健彦 (日 動 火 災)	森田 恒勝 (琉 球 生 命)
○広井英太郎 (前・日 本 火 災)	○森松 邦人 (保 險 研 究 所)
広海 孝一 (長 崎 大 学)	矢生 太陽 (東 京 海 上)
○福室 泰三 (第 一 生 命)	谷田部義雄 (損 害 保 險 評 論 社)
◎古沢 源刀 (神 奈 川 大 学)	柳田 慶夫 (日 産 火 災)
堀 博 (損 害 保 險 協 会)	山田 信明 (千 代 田 生 命)
堀村 勝美 (損 害 保 險 料 率 算 定 会)	山名 愛三 (千 代 田 生 命)
本郷 敏雄 (日 産 火 災)	山本 種市 (前・東 京 海 上)
真崎 勝 (日本原子力保険プール)	山口 清暉 (損 害 保 險 協 会)
馬島 淳介 (安 田 火 災)	讀原 昭和 (明 治 生 命)
増子 隆一 (安 田 火 災)	◎横尾登米雄 (横 浜 国 立 大 学)
水島 一也 (神 戸 大 学)	若土 清弘 (全 共 連)
○南出 弘 (安 田 火 災)	鷲田 俊顕 (農 林 省)
三宅 一郎 (日 本 生 命)	鷲見 正昭 (大 正 海 上)
三宅 孝 (三 井 生 命)	和田 雄三 (安 田 火 災)

(注・初版執筆者所属名は昭和37年6月1日現在)

改訂版執筆者

編集代表／横尾登米雄・青木 延一

青木 延一（安 田 生 命）	陳 繼堯（台 灣 産 物 保 險）
青山 茂樹（損害保険料率算定会）	寺西 啓三（安 田 生 命）
荒木 孝（郵政省簡易保険局）	鳥井 友幸（郵政省簡易保険局）
飯村 篤（共 栄 火 災）	内藤 脩治（三 井 生 命）
磯野 静男（全 損 保）	長坂 泰（自動車保険料率算定会）
伊丹 良（第 一 生 命）	中山富三郎（安 田 生 命）
井上 謙三（損 害 保 險 協 会）	中山 昌明（郵政省簡易保険局）
大坪 昭明（郵政省簡易保険局）	西村 金蔵（日 本 地 震 再 保 險）
奥野 悟朗（自動車保険料率算定会）	林田 桂（大 成 火 災）
緒方 彪（損 保 労 連）	林 日出雄（日本損害保険協会）
越知 隆（大 東 京 火 災）	菱沼 従尹（第 百 生 命）
小野田宗之（日 産 火 災）	平井 乙也（保 險 研 究 所）
河村 俊世（日 本 船 舶 保 險 連 盟）	平井 泫一（第 一 火 災）
喜多 実（日 産 火 災）	福田 純一（日本損害保険協会）
木下 豊（東 京 生 命）	福室 泰三（アジア生命保険振興会）
木村 栄一（一 橋 大 学）	古田 幸治（自動車保険料率算定会）
熊谷 豊（郵政省簡易保険局）	細川 泰佑（日 本 船 舶 保 險 連 盟）
小山佐武朗（東 亜 火 災）	堀村 勝美（日本損害保険協会）
近藤 次路（自動車保険料率算定会）	真県 宇作（日 本 地 震 再 保 險）
齐藤 正巳（自動車保険料率算定会）	真崎 勝（日本原子力保険プール）
坂井幸二郎（保 險 研 究 所）	松岡 秀次（東 京 海 上）
堺 高基（A I U）	松田 泉（郵政省簡易保険局）
堺 雄一（明 治 生 命）	南出 弘（横 浜 商 科 大 学）
佐藤 哲夫（安 田 生 命）	守永 宗（日本損害保険協会）
塩沢 拓海（自動車保険料率算定会）	森松 邦人（保 險 研 究 所）
鈴木 啓資（自動車保険料率算定会）	丸山 武雄（日 本 船 舶 保 險 連 盟）
鈴木 譲一（損害保険事業研究所）	山本 要夫（自動車保険料率算定会）
下島 恒夫（損害保険料率算定会）	山本 包次（A F I A）
高橋 健治（日 本 損 害 保 險 協 会）	柚須 悠久（自動車保険料率算定会）
高橋 義胤（保 險 研 究 所）	横尾 督雄（東 京 海 上）
館野 豊（安 田 生 命）	横尾登米雄（東 京 経 済 大 学）
谷山 新良（大 阪 府 立 大 学）	廖 泗滄（国 泰 人 寿 保 險）

（注・執筆者所属名は昭和45年4月1日現在）

凡 例

1. 〔配列〕 現代かなづかいによる表音式50音順に配列した。
2. 〔かなづかい・漢字の用法〕 読みやすい表示を眼目とし、原則として国語審議会および日本新聞協会の採用する新かなづかい・当用漢字の用法に従って項目を表示した。しかし、業界の慣用になっている特定の名詞については、その説明文中では必ずしもその用法に従わず、業界の慣用的表示を行なった。例・事項項目の表示では「元受け会社」「引き受け責任」「分割払い保険料」「月払い保険」としたが、説明文中では「元受会社」「引受責任」「分割払保険料」「月払保険」etc.
また、普通名詞で制限漢字が使用されているものについては、原則として「ひらがな」ないしは当用漢字で表示し、そのあとにカッコして、その制限漢字を示しておいた。例・てん（填）楠，解約返れい（戻）金，座（坐）礁，失宗（踪），etc.
ただし、固有名詞その他歴史上固有名詞化されて使われているもの等の表示は、原名のままとし、とくにそのなかに制限漢字がはいっていたり、新かなづかいの用法では送りがない必要とするものについてはカッコして「ふりがな」を付けた。例・筏保険特別約款（いかだほけんとかべつやっかん），廻船式目（かいせんしきもく），etc.
3. 〔項目の表示方法〕 最も一般的、標準的読み方に従った。例・そ（遡）及約款 重複保険契約一ちょうふくほけんけいやく，etc.
4. 〔条文の表示〕 解説本文中に条文の引用がある場合はカッコして原文のままを引用し、商法第1条第1項第1号の要領で示した。ただし、原文のままの引用でない場合は、カッコを施さずその終りに（商法1条1項1号）の要領で示した。
5. 〔外国語の表示〕 原則として当該項目に対応する英語〔米語〕，ドイツ語，フランス語をかかげ、固有名詞およびドイツ語の名詞を除いては小文字で示した。
6. 〔人名・団体名の表示〕 人名は、日本人については、その正式名をカッコ内に「ふりがな」で示し、外国人については〔英〕（〔米〕を含む）〔独〕〔伊〕〔仏〕などの記号を付してそのフル・ネームを示すとともに、属国名を示した。なお、外国会社名の表示は、慣用に従い表示した。例・「アリアンツ生命社」「エトナ・ライフ社」etc.
7. 〔外国語のカタカナ表示〕 発音記号にできるだけ忠実に従い表示した。ただし、「サービス」「アペレーシ」などのように、日本語化しているものは、その慣用的表示に従った。
8. 〔記号〕 印=○○○をみよ，の意味を示す。同義語で他に説明されている項目がある場合ないしは関連項目で説明がある場合。例・「アー・エフ・ペー」は「ドイツ火災保険普通約款」の項で説明されているので 印「ドイツ火災保険普通約款」とした。

→印＝〇〇〇を参照せよ、の意味を示す。説明が一応施されているが、なお関連用語をあわせ参照した方がよりベターである場合。例・「告知義務」は当該項目の説明で一応理解できるが、さらに「危険測定説」「善意契約説」を参照すれば、より体系的・専門的に理解できるという場合に→「危険測定説」「善意契約説」とした。

*印＝項目としてかかげられていることを示す。例・「海上保険証券のメモランダム約款は……」、この場合「メモランダム約款」は独立項目としてかかげられていることを示しているわけである。

説明文の冒頭に付した㊤㊦等の記号は、それぞれの属性を示し、かつその立場からの説明であることを示す。すなわち、㊤＝生保、㊦＝損保、㊧＝簡易生命、㊨＝社会保険、㊩＝共済、さらに㊪＝再保険、㊫＝火災、㊬＝海上、㊭＝運送、㊮＝自動車、㊯＝自動車強制賠償、㊰＝風水害、㊱＝賠償責任、㊲＝原子力、㊳＝年金等であり、また、主としてアメリカにおけるボンドを㊴、ライアビリティ＝㊵、インランド・マリーン＝㊶等の記号で示した。

なお、固有名詞および保険全般（主として、生、損共通の用語）に共通の用語にはそれらの記号を付けなかった。

9. 【数示の表示】 すべて算用数字とした。ただし「ひとつ」「ふたつ」という場合は「一」「二」と和数字を用いることを原則とした。
10. 【年号の表示】 本邦内の事件については年号で示しカッコ内に西暦年数をも示した（原則として、大正年間までとし、昭和年間については特別の場合のみ西暦年数を併記した）。
11. 【基準日】 本辞典作成の基準日を昭和46年2月1日においた。
12. 【索引】 事項索引は項目としてかかげられてあるもののほか、解説中にでてくる一般的な保険用語をも収録した。外国語索引は、項目名の対応語のほかに、解説中に述べられてある特殊の用語をも収録した。なお、各項目のページは、通常の算用数字で示し、かつ、その重要なページをゴシックで示した。

事 項 索 引

注 *印は人名、・印は解説中に
でている項目を表わす。

〔ア〕

A. F. B. : アー・エフ・ベー 1
 A. D. S. : アー・デー・エス 1
 アーノルド 1
 アービトレイション・クローズ 1
 アームストロング調査委員会 1
 R. R. システム 2
 ・RF表 801
 アーンド・ベイス 2, 560
 I. R. I. 2
 I. I. A. 2
 A. I. D. A. : アイーダ 3
 I. S. P. 3
 I. A. S. A. 3, 845
 I. M. I. B. 3
 I. M. U. A. 3
 I. L. I. 3
 ・愛国生命保険株式会社 696
 A. I. S. A. M. : アイサム 4
 I. C. I. A. (国際信用保険協会) 4, 298
 愛児保険 4, 5
 I. T. I. A. 4
 アウダテックス・システム 4
 赤ちゃん保険 5
 I. Q. A. 5
 I. D. P. 機械; E. D. P. 機械 5
 合入渠(あいにゅうきょ) 6
 I. B. A. N. Y. 6
 I. B. N. R. 6
 I. B. M. システム 6
 アウトサイド・ブローカー 7, 1039
 青十字入院保険組合; 青楯治療

保険組合 7, 804
 * 青山衆司 7
 アカウンタンツ・ライアビリティ・
 ポリシー 7
 アカウント・イヤー・ベイス 7
 空家条項 7, 819
 悪意・重大なる過失 7, 277
 悪意的損害 7
 悪意の超過保険契約 8
 悪意の重複保険契約 8
 アクチュアリー 8
 アグリゲート・リミット 8
 アサインド・リスク・プラン 8
 アサインメント・クローズ 9
 * 朝川伸夫 9
 ・朝日海上火災保険株式会社 667
 朝日火災海上保険株式会社 9
 ・朝日生命保険株式会社 574
 朝日生命保険相互会社 10
 アジャスター制度 10
 アジャスタブル・ポリシー 10, 621
 預り保険料 10
 アセスメント・インシュアランス;
 アセスメント・プラン 11
 アセスメント・ミューチュアル 11
 汗ぬ(濡)れ 12
 * 麻生義一郎 12
 アソールト・アンド・バッテリー・
 クローズ 12
 アソシエーション・オブ・マリナー・
 アンダーライターズ・オブ・ザ・
 ユナイテッド・ステイツ 12
 アタッチメント・ボンド 12
 熱海大火 12
 圧縮記憶 13

アッペンダム	13
アット・エンド・フロム	13
アット・リスク	13
アドিশヨナル・エクステンデッド・ カバレッジ・エンドースメント	13
アドিশヨナル・リビング・エクス ペンス・インシュアランス	14
アテスト	14
・後払い運送貨	609
・後払式保険	933
アドミッシヨソ	14
アドミニストレイター・ボソド	14
アドミラルティー・ボソド	14
アニヴァーサリー	14
芦原(あばら)町大火	15
アピール・ボソド	15
A. F. C. O. : アフコ	15
アフター・ロス; アフ・ロス	15
* 阿部泰蔵	15
アベレーシ・クローズ	16, 816
・尼崎海上火災保険株式会社	277
アマカブル・ソサイエティ	16
雨淡水ぬ(濡)れ	17
雨淡水ぬれ担保特別約款(和文)	17
雨ぬ(濡)れ	17
アメリカ火災保険協会	17, 71
アメリカ・カナダ経験表	17
アメリカ経験表	18
アメリカ生命保険外務員大学	18
アメリカ生命保険協会	18, 61
アメリカ生命保険事業に対する税制	18
アメリカ男子終極表(AM ⁽⁶²⁾)	18
・アメリカ男子終極表の死亡率	18, 499
アメリカの経験生命表	18
アメリカの国民生命表	19
アメリカの社会保障制度	19
アメリカの損保代理店制度	20
アメリカの保険監督制度	20
アメリカ・フォア・グループ	21
アメリカン・インスティテュート・オブ・ マリーン・アンダーライターズ	21
アメリカン・インスティテュート・ カーゴ・クローゼズ	21
アメリカン・ハル・インシュアランス シンジケート	21
アメリカン・ファミリー・ライフ社	22
アメリカン・ホーム社	22
アメリカン・ミューチュアル・ アライアソス	22
アライアソス・アシユアラソス社	22
アリアソツ生命社	22
アリコ・ジャパン社(ALICO Japan)	23
アルコール・ボソド	23
・アルゼンチン商法典	886
・アルバ侯法令	885
* 栗津清亮	23
・アンサンディ	773
・安全積立金	25
安全担保	23
「安全な状態で」	24
「安全に陸揚げされる」	24
安全率	24
安全割増し	24
アンダーライター	24
・アンダーライティング・メンバー	1035
アンダーライターズ・ラボラトリーズ	25
アンダーライティング	25
安定価値保険	25
アンブレラ・カバー; アンブレラ・ ポリシー	26, 836
アンブレラ賠償責任保険	26
あん(按)分主義	26, 621
あん(按)分の原則	26

[1]

イーグル・スター社……………27
E. D. P. 機械……………5, 35
異位契約……………27, 658
・異位契約間損害分担規則……………659
い(鑄)型包括保険……………27

いかだ(筏)保険	27	一年定期生命保険	35, 637
筏保険特別約款	27	一部共済	35
移管	27, 649	一部再保険	36, 331
イギリス海上保険(と(賭)博保険)法	27	一部保険	36
イギリス海上保険法	27	医長	36
イギリス火災予防法	28, 65	医調扱い	36
イギリスの消防法	28, 65	一括責任主義	36, 836
イギリスの社会保障制度	28	一括払い保険料	36
イギリスの生命保険	28	一括保険証券	37
イギリスの生命表	29	一貫保険契約	37
イギリスの損保代理店制度	29	いっき(一揆)	37
* 井坂 孝	30	一揆(いっき)暴動同盟罷(ひ)業等担保 特別約款〔和文〕	37
遺産管理人保証契約	14, 30	1級構造	38
* 石川文吾	30	逸失利益	38
異時契約	30	一定額再保険	38
* 石坂泰三	30	・一定額保証配当	248
異時重複保険	30	一般火災保険金庫	38
医師賠償責任保険	31	一般管理費	39
維持費	31	一般検査	39
慰謝料	31	一般再保険	39, 331
医師用医療器具包括保険	32	一般の自動車保険	39, 386
異常危険再保険	32	一般物件	39
異常危険準備金	32	一般物件料率表	39, 791
・異常危険超過損害再保険	614	一般文言	39
異常災害危険同盟	33	一方的再保険	39
異常〔災害〕超過損害再保険	33	医的選択	39
伊勢湾台風	33	遺伝	40
移送保証契約	34, 1015	移転条項	40
・遺族補償給付	1043	異動	40
易損貨物	34	異動日計表	40
委託業務手数料	34	I. N. A. C. : イナック	40
委託販売輸出保険	34, 989	委任管理	41
・板谷生命保険株式会社	824	委任なき他人のためにする契約	41, 587
・イタリア商法典	886	委任を受けた他人のためにする契約	41, 587
イタリック書体約款	34	委付; 保険委付	41
一危険	34	委付書	43
・一時恩給	86	・委付の効果	42
・一時払純保険料	926	・委付の性質	42
一時払い保険料	35	委付制度	41, 43
・一時払保険料式	600	委付の承認	43
・一時扶助料	86		